

令和3年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第1日目

1 招集年月日 令和3年9月14日

1 招集場所 勝浦町役場議場，大会議室

1 開閉日時及び宣告

開議 9月14日 午前9時30分 議長 美馬友子

散会 9月14日 午後4時49分 議長 美馬友子

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	花房勝一	2番	相原喜久男
3番	瀬戸直一	4番	仙才守
5番	美馬友子	6番	麻植秀樹
7番	松田貴志	8番	籾公一
9番	国清一治	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

3番	瀬戸直一	8番	籾公一
----	------	----	-----

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	山田徹
教育長	市川公雄	政策監	春木達也
総務防災課長	中瀬弘晴	企画交流課長	寺尾由美
税務課長	藤井小百合	住民課長	後藤信之
福祉課長	木村美枝	農業振興課長	河野稔彦
建設課長	海川好史	上下水道課長	大上誉司
会計管理者	長友清美	教育委員会事務局長	石木正昭
勝浦病院事務局長	笠木義弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長	松本博文	監査委員	西谷康彦
------	------	------	------

1 議事日程（第1号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議会運営委員会所管事務調査報告

日程第4 報告第1号 令和2年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

日程第5 報告第2号 令和2年度決算に基づく資金不足比率について

日程第6 認定第1号 令和2年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第6まで（第1号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（美馬友子君） 皆さん、おはようございます。今議会から初めと終わりにす  
ぐに挨拶を交わすこととしたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

それでは、ご起立願います。礼。ご着席ください。

それでは、ただいまから令和3年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 日程第1，諸般の報告を議題といたします。

会議等への出席状況を報告いたします。

7月30日、徳島市で開催された徳島県町村議会議長会第73回定期総会並びに町村議
会議長研修に私が出席しました。

8月3日、小松島市で開催された令和3年小松島市外三町村衛生組合議会第1回臨
時会に花房議員、麻植議員と私が出席いたしました。

8月5日、徳島市で開催された令和3年度徳島県町村議会議員研修会に花房議員、
相原議員、瀬戸議員、仙才議員と私が出席いたしました。

8月30日、松茂町で開催された徳島県町村議会女性議員連盟三役会議に私が出席い
たしました。

監査委員から例月出納検査結果について報告書がお手元へ配付のとおり提出されて
いますので、ご報告しておきます。

次に、法第121条第1項の規定により説明者として出席を求めたのは、野上町長の
ほか、お手元に配付の出席要求書のとおりでございます。また、決算審査報告として
西谷代表監査委員の出席を求めています。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 次に、日程第2，会議録署名議員の指名を議題といたしま  
す。

会議録署名議員は、会議規則第128条の規定により、議長において指名いたしま  
す。

令和3年勝浦町マラソン議会9月会議における会議録署名議員は、3番瀬戸議員、

8 番節議員の両名を指名いたします。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 次に、日程第 3，議会運営委員会所管事務調査報告を議題といたします。

議会運営委員会調査結果の報告を求めます。

国清議会運営委員長。

○議会運営委員長（国清一治君） それでは、議会運営委員会から報告いたします。

9 月 7 日に議会運営委員会を開催し、9 月会議の日程等について協議を行いました。その結果、本日から 16 日まで第一読会において令和 2 年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定を審議いたします。17 日は提出議案第 1 号から第 8 号について第一読会を行い、22 日に第二、第三読会を予定しておりますので、ご協力お願いいたします。

なお、この 9 月会議から今会期終了日までに行われる会議における全ての第一読会において、会議規則第 52 条の規定により議長が議員として質疑を行うときは、会議規則第 53 条にある自由討議と同様に議長席で行うことと決定いたしました。

以上、報告いたします。

○議長（美馬友子君） 失礼いたしました。国清議会運営委員長でございました。

それから、令和 2 年と申し上げましたが、令和 3 年勝浦町マラソン議会でございます。

ただいまの議会運営委員長の報告に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（美馬友子君） それでは、議会運営委員会所管事務調査報告を終わります。

~~~~~

○議長（美馬友子君） 日程第 4，報告第 1 号，令和 2 年度決算に基づく財政の健全化判断比率についてから日程第 6，認定第 1 号，令和 2 年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてまでを一括して議題といたします。

これより第一読会を開きます。

町長から開会の挨拶並びに報告第 1 号から認定第 1 号までを一括して趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） 改めましておはようございます。

本日は、勝浦町マラソン議会9月会議を開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用のところご出席を賜りまして深く感謝いたします。

9月会議では、令和2年度の各会計決算認定のほか、職員の分限に関する手続及び効果に関する条例をはじめとする6件の一部改正条例、勝浦町過疎地域持続的発展計画等策定などを上程いたしております。

新型コロナウイルスの全国的な状況を申し上げますと、今年の夏は多い日で1,600人余りの感染者数であったのが、今年の夏は変異したデルタ株が猛威を振るい、その16倍以上、2万5,000を超える感染者となるなど、依然として予断を許さない状況と言えます。コロナウイルス感染には、徳島県においても同様に7月末8月上旬から二桁台の感染者数となり、現在もその状況が継続いたしております。勝浦町では、感染が拡大してから何名かの感染者が確認されましたが、皆さん重症など大事には至らず、回復されていることは何よりでございます。

本町のコロナウイルスワクチン接種は、町民皆様のご協力により、希望する方々への接種を8月29日をもって終了することができました。しかも、85%、高い接種率でコロナウイルスに感染しても発症しない、重症化しないという効果が期待され、町民の皆様の不安を取り払い、以前のような日常生活に戻れるよう努めてまいります。

7月下旬、昨年に引き続き子供たちの夏休みに合わせて恐竜フェスティバルを開催いたしました。密にならないよう予約制での人数制限など対策を取った上での開催となりましたが、オープニングのCANさんの講座をはじめとほとんどイベントが満員となり、子供たちの夏の思い出づくりができたと思っております。

9月5日、地震を想定した防災訓練では、各地区には避難訓練と安否確認訓練をお願いし、地区それぞれの状況に合った訓練を行っていただきました。町においては、農村環境改善センターと町民体育館で避難所運営訓練を実施し、防災用ベッドの組立てなど、見学に来ていただいた町民とともに一緒に取り組めたことは、職員にとっても有意義な訓練になったと思っております。ここ数年、徳島県、そして勝浦町では台風や大きな豪雨の被害から逃れておりますが、災害に対して一番の大敵である油断を招かないよう気を引き締めて防災対策に取り組んでまいります。

それでは、会議に上程いたしております議案についてご説明を申し上げます。

初めに、報告2件についてご説明を申し上げます。

報告第1号は、令和2年度決算に基づく財政の健全化判断比率についてであります。これは、勝浦町の普通会計及び全会計の財政状況の健全度を判断するための指標を報告するものでございます。

次に、報告第2号は、令和2年度決算に基づく資金不足比率についてであります。これは、勝浦町公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率でございます。

それぞれ監査委員の意見を付して報告いたします。

続いて、認定第1号は、令和2年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてであります。

各会計の収支等の状況についてご説明申し上げます。

まず、勝浦町一般会計では、歳入歳出差引き額2億393万8,488円となりまして、このうち翌年度へ繰り越すべき財源9,202万6,080円を差し引きまして、1億1,191万2,408円の黒字となっております。

次に、勝浦町国民健康保険特別会計では、歳入歳出差引き額1億2,584万3,855円の黒字となっております。

次に、勝浦町簡易水道事業特別会計では、歳入歳出差引き額6万1,548円の黒字となっております。

次に、勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計では、歳入歳出差引き額137万8,629円の黒字となっております。

次に、勝浦町農業集落排水事業特別会計では、歳入歳出差引き額2万5,218円の黒字となっております。

次に、勝浦町介護保険特別会計では、歳入歳出差引き額3,573万6,199円の黒字となっております。

次に、勝浦町後期高齢者医療特別会計では、歳入歳出差引き額10万300円の黒字でございます。

次に、勝浦町物産販売特別会計では、歳入歳出差引き額185万6,009円の黒字でございます。

勝浦町病院事業特別会計では、病院事業収益で6億6,703万5,068円、病院事業費用で6億6,183万7,691円、差引き519万7,377円となっております。また、資本的収入は

3億3,833万8,017円、資本的支出は3億6,711万5,317円であり、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額につきましては損益勘定留保資金で補填いたしております。

以上、決算の認定につきましては監査委員の意見を付して提出いたします。

詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、認定いただきますようよろしくお願い申し上げまして提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（美馬友子君） 小休させてもらいます。

午前9時44分 休憩

午前9時48分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、再開いたします。

町長の説明が終了いたしました。

続いて、詳細説明を求めます。

報告第1号及び報告第2号について。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 改めましておはようございます。

それでは、報告第1号、令和2年度決算に基づく財政の健全化判断比率について等につきまして詳細説明をいたします。

まず、地方公共団体の財政の健全に関する法律の規定によりまして、令和2年度決算に基づく4つの健全化判断比率について監査委員の意見をつけて報告させていただきます。

まず、実質赤字比率ですが、一般会計等の普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率でございます。令和2年度決算で普通会計は黒字となっておりますので、数値は表れておりません。

次に、連結実質赤字比率でございます。全会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率でございます。同じく全会計とも黒字でございますので、これも数値は表れておりません。

次に、実質公債費比率でございます。普通会計への地方債元利償還金等から元利償還金に対して交付税措置される額等を除いた実質公債費の標準財政規模等に対する比

率で、決算年度を含めた前3年間の平均値を表しております。この算出に用いる標準財政規模等は、実質公債費と同様、元利償還金に対して交付税措置される額を除いて算出されることとなります。実質公債費比率でございますが、平成30年度4.52324%、令和元年度が4.88558%、令和2年度におきましては5.06483%となっております。参考までに、昨年度は4.5%でございますが若干増えておりますが、早期健全化基準の25.0を下回っておるといような状況でございます。

最後に、将来負担比率でございますが、地方債の現在高等から公債費の償還に充当できる減債基金などの額や元利償還金に対して交付税措置される額を除いた地方債現在高の標準財政規模に対する比率でございます。地方債現在高より充当可能財源が上回っているため、数値としては表れておりません。財政の健全化判断比率から見た勝浦町の財政状況におきましては、健全な状況と言えると考えております。

ちなみに、4指標とも標準財政規模を基に算出した額に対する比率となっております。令和2年度勝浦町の標準財政規模については、23億4,545万4,000円でございます。仮に財政健全化団体等に陥った場合は、およそこの財政規模での行政運営をしなければならないこととなります。

報告第2号でございます。

令和2年度決算に基づく資金不足比率についての詳細説明でございます。こちらのほうも監査委員の意見をつけて報告をさせていただいております。

この指標は、公営企業会計の資金不足額の各会計事業規模に対する比率で、病院事業会計は流動資産等から流動負債等を除いた額がマイナスであれば資金不足が生じ、簡易水道特別会計及び農業集落排水事業特別会計においては実質赤字がある場合に資金不足が生じることとなりますが、令和2年度決算においてはいずれの会計も資金不足額はありませので、こちらのほうも数値としては表れておりません。

報告につきましては以上でございます。よろしくお願いをいたします。

○議長（美馬友子君） 次に、勝浦町歳入歳出決算の全体説明を求めます。

長友会計管理者。

○会計管理者（長友清美君） 令和2年度勝浦町一般会計特別会計歳入歳出決算書について調製しましたので、申し上げます。



初めに、2ページ目をご覧ください。

3ページから54ページまでが一般会計の歳入歳出決算書です。55ページから111ページまでが特別会計の歳入歳出決算書となります。

詳細については各課から説明がありますので、各会計ごとの収支総額について申し上げます。

113ページをご覧ください。

令和2年度各会計実質収支に関する調書につきまして、会計ごとに読み上げます。

一般会計、歳入総額48億4,812万1,202円、歳出総額46億4,418万2,714円、差引き額2億393万8,488円で、翌年度へ繰越しすべき財源の内訳は、逐次繰越額6,884万5,080円、明許繰越額2,318万1,000円で、実質収支額は1億1,191万2,408円です。

続きまして、国民健康保険特別会計、歳入額7億2,438万9,112円、歳出額5億9,854万5,257円、差引き額1億2,584万3,855円。

簡易水道事業特別会計、歳入額1億3,725万2,660円、歳出額1億3,719万1,112円、差引き額6万1,548円。

住宅新築資金等貸付特別会計、歳入額137万8,629円、歳出額0円、差引き額137万8,629円。

農業集落排水事業特別会計、歳入額5,182万2,529円、歳出額5,179万7,311円、差引き額2万5,218円。

介護保険特別会計、歳入額9億7,151万1,493円、歳出額9億3,577万5,294円、差引き額3,573万6,199円。

後期高齢者医療特別会計、歳入額1億740万6,634円、歳出額1億730万6,334円、差引き額10万300円。

物産販売特別会計、歳入額949万9,925円、歳出額764万3,916円、差引き額185万6,009円となっています。

次に、114ページをご覧ください。

財産に関する調書です。土地について増加がありました。役場駐車場や水源涵養事業用地などの新規取得によるものです。また、固定資産台帳と突合させた異同があり、土地建物についてそれぞれ増減がありました。

115ページをご覧ください。

出資による権利の増減はありませんでした。

116ページをご覧ください。

有価証券及び無体財産権の増減はありませんでした。

物品は、乗用車が1台減少、貨物車が1台増加し、年度末現在高は計44台となっています。

基金についての増減高は一覧のとおりで、年度末現在高は31億3,098万2,810円でございます。

以上で令和2年度各会計歳入歳出決算書の説明とさせていただきます。

○議長（美馬友子君） 続いて、勝浦町病院事業特別会計の全体説明を求めます。

笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 病院事業特別会計決算書について説明させていただきます。

2ページに収益事業、それから3ページには資本会計の決算報告書を掲載しております。4ページが損益計算書を掲載しております。5ページ、それから6ページ、こちらが貸借対照表となっております。令和2年度末で資産合計20億1,563万1,936円となっております。負債合計は8億1,769万4,026円、それから資本合計が11億9,793万7,910円となっております。7ページは業務報告、それから8、9ページについてはキャッシュフローの計算書となっております。10ページ以降に詳細及び参考資料を添付させていただきます。

以上でございます。

○議長（美馬友子君） 以上で歳入歳出決算の全体説明は終わりました。

ここで監査委員会から先般、8月に行われました各会計歳入歳出決算審査結果について報告を求めます。

西谷代表監査委員。

○監査委員（西谷康彦君） 令和3年8月25日から30日にかけて実施いたしました令和2年度各会計歳入歳出決算審査の結果について報告いたします。

令和2年度勝浦町各会計歳入歳出決算審査結果。次の項目について重点的に監査を実施いたしました。

休暇の取得や時間外勤務について、課内で事務の平準化を図られているとのことで

あるが、現状では各課や職員間で偏りがある。健康管理を考慮し、組織全体で時間外勤務の縮減や休暇取得しやすい職場環境を構築されたい。

本年度の支払い事務の執行状況については、前年度も意見したところではありますが、支払い遅延が多く発生している。住民や事業者等への行政サービスを低下させない効率的な事務処理ができるかが課題である。事務処理の遅延やミスを防ぐための改善策を全庁の取組として考えられたい。

1， 不納欠損及び収入未済額の内容調べ。

税務課。町民税については収入未済額が前年度に比べ減少した。固定資産税については現年度未収及び滞納繰越分の徴収が進められた。今後も厳正に対処されたい。

住民課。1， 町営住宅使用料については、平成27年度の決算審査時から意見してきたが、滞納繰越分の徴収が進んでいない。勝浦町営住宅設置及び管理条例を基に厳正に対応すべきである。

2， 住宅新築資金等貸付け特別会計についても平成27年度から意見してきましたが、1年間での収入済額は数件あるものの、徴収が進んでいない。行政相談等において徴収不能と判断される事案については、不納欠損として対応、対処すべきである。

福祉課。保育料の現年度分は完納されており、引き続き未納が発生しないように努められたい。介護保険料の滞納者には、滞納によるペナルティーについて、本人だけでなく、将来に負担することとなる家族にも説明し、理解を求め、収納率の向上に努められたい。

2， 支払い事務の執行状況。例月出納検査実施時の報告のとおり、議会事務局，住民課，農業振興課，教育委員会において支払い遅延が多く，適正な事務執行に努められたい。

3， 休暇の取得や時間外勤務状況調べ。

冒頭で述べたが、全体的に改善が見られるが、平均休暇取得日数は総務防災課が3日、次いで企画交流課が3.7日と少ない。また、時間外勤務時間については、最大時間数の職員は436時間で前年度の730時間から減少したものの、総務防災課，福祉課，教育委員会，建設課では最少時間数の職員との差が大きい。新型コロナウイルス感染症対策による新規事業により職員の業務は増大した。職員の健康管理には休暇取得の促進や時間外勤務の平準化は避けられず、今後も業務多忙な状況が続くようであれ

ば、職員の業務見直しや会計年度任用職員等の採用を検討するなど、改善に向けた取組を期待したい。

その他として、1、総務防災課。住基・税システムを随意契約により長期継続契約しているが、調達方法、契約内容及び契約理由等については公表がなされるよう改善されたい。

2、税務課。平成29年度、30年度に意見したが、地籍調査完了地区での登記現況に応じた公平な課税体系とするべきである。

終わりに、決算審査結果について、次回定例監査時に各課での今後の方向性と取組等の回答を書面にてお願いいたします。

以上、監査結果です。

○議長（美馬友子君） 以上で説明は終わりました。

報告第1号及び報告第2号について質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（美馬友子君） 質疑なしと認めます。

以上で2件の報告は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたします。

午前10時09分 休憩

午前10時26分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

初めに、総務防災課関連の詳細説明を求めます。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 総務防災課関連のご説明をさせていただきます。座って説明をさせていただきますので、お願いします。

初めに、決算書のほうで歳入について、一般財源等総務防災課関連のご説明をさせていただきます。

1款につきましては町税のほうになりますので、税務課のほうでの説明となりますので、よろしくお願いをいたします。

2款地方譲与税からご説明をさせていただきます。

2款1項地方揮発油譲与税1,193万8,000円、前年度、マイナス2.0%でございます。

す。

続きまして、2款2項自動車重量譲与税3,473万7,000円、1.02%の減でございます。

続きまして、こちらのほうは地方道路譲与税、前年度はありましたが、4円ということで皆減となっております。

それから、2款4項森林環境譲与税842万6,000円、112.56%の増となっております。

続きまして、3款利子割交付金、1項利子割交付金でございます。61万1,000円、前年度比11.5%の増となっております。

続きまして、4款配当割交付金、1項配当割交付金354万2,000円、前年度5.97%の減でございます。

続きまして、5款株式等譲渡所得割交付金、1項株式譲渡割等交付金でございます。こちらのほうは350万9,000円、前年度79.58%の増となっております。

それから、6款法人事業税交付金、1項法人事業税交付金でございます。181万4,000円、皆増でございます。

続きまして、7款地方消費税交付金、1項地方消費税交付金でございます。1億178万7,000円、前年度23.41%の増でございます。

続きまして、7款自動車取得税交付金、1項自動車取得税交付金でございます。こちらのほうは、皆減となっております。その代わりに7款の消費税交付金となっております。

8款でございます。環境性能割交付金でございます。1項環境性能割交付金330万2,000円、133.36%の前年度比増でございます。

続きまして、9款地方特例交付金、1項地方特例交付金356万1,000円、50.51%の増でございます。

続きまして、10款地方交付税でございます。1項地方交付税17億9,315万円、前年度比4.43%の増でございます。このうち、普通交付税でございますが、16億1,094万2,000円、特別交付税1億8,220万8,000円となっております。

続きまして、11款の交通安全対策特別交付金以降については各課の説明となりますので、歳出のほうに移らせていただきます。

歳出のほうでございますが、まず主要な事業といたしまして新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（総務防災課分）につきましてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず初めに、総務防災課の事業といたしまして幾つかの事業がございます。順に説明をさせていただきたいと思っております。

1点目、公共交通路線バス応援事業、こちらのほうは新型コロナウイルス影響による3密回避のための路線バス含む確保、感染拡大防止の対応とさせていただいております。成果と評価については、ご覧いただいたとおりでございます。決算額といたしましては240万3,000円とさせていただいております。

それから、2点目の事業でございます。避難所衛生保全資材等備蓄事業でございます。避難所の衛生環境の保全と密接、密集対策のための資機材備蓄を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止を行うものでございます。テント、間仕切りパーティション等を購入させていただいております。予算科目、事業番号については8-1-1, 10024でございます。それから、決算額といたしまして、696万1,192円でございます。成果及び評価については、記載のとおりでございます。

それから、3点目でございます。公共施設感染予防対策事業、町内公共施設の新型コロナウイルス感染予防対策として施設の換気設備を改修、このうち教育集会所におきましては換気機能つきエアコン、網戸のない坂本及び中山集会所につきましては網戸を整備させていただいたものでございます。予算科目については、8-1-1, 9-4-3, それぞれから支出を行っております。合計といたしまして113万5,200円でございます。このうち、教育集会所のエアコンでございますが、83万6,000円、換気機能つきエアコンとさせていただいております。

4点目でございます。救急搬送時感染症予防対策でございます。勝浦町救急搬送事業において新型コロナウイルス感染防止対策として資材の整備を行ったものでございます。主な内容といたしましては、感染防止用防護服の購入とさせていただいております。予算科目としては8-1-1, 事業番号10023でございます。決算額については、22万4,400円となっております。

それから、5点目でございます。ウェブ会議システムの整備でございます。ウェブ会議が増加しており、それに対する環境の整備、大型ディスプレイ、ノートパソコン

等の購入をさせていただいております。予算科目として2-1-1, 事業番号10005で108万6,690円でございます。こちらの大型ディスプレイ, それから議会の2階のディスプレイ等がこちらのほうで購入したものでございます。

それから, 6点目でございます。役場分担型業務環境整備事業でございます。役場業務における新しい生活様式への対応のため, 必要な機器や分散型業務環境整備ということで, ノートパソコン, 庁内LAN設備を各部屋で分散で業務に当たれるように整備したものでございます。予算科目2-1-1の事業番号10005, 112万8,710円とさせていただいております。49万2,000円につきましては, 3年度, サーマルカメラ3台を繰越事業とさせていただいております。

それから, 7点目でございます。庁舎内感染対策事業でございます。役場庁舎において, こちらのほうも新しい生活様式への対応及び感染拡大防止のための物品等を整備, アクリルパネル, CO<sub>2</sub>センサー, AIサーマルカメラを購入させていただいております。こちらのほうは, 2-1-2, 事業番号10015, 127万7,540円とさせていただいております。

それから, このナンバーにつきましては, 創生交付金の番号と合っているような番号となっておりますので, 47番となりますが, 総務防災課としては8点目とさせていただいております。

病院会計への繰り出し補助事業でございます。こちらのほうは, コロナ感染拡大防止のために感染防止機器等の購入や患者と職員, 患者同士の接触機会を減少するため, 機器整備をするための繰り出しを行ったものでございます。4-1-1, 40039の事業番号でございます。2,477万6,000円, 院内機器の使い分け, 入り口でのサーモカメラ, 来院時のトリアージ可能となり, 院内感染, クラスタ防止, 院内感染者数ゼロという成果でございます。

それから, 48になりますが, 勝浦病院繰り出し, 同じく補助事業でございます。PCR検査受入れ促進のための設備整備の繰り出しでございます。こちらのほうは, 4-1-1, 40039でございます。911万2,000円でございます。医療用陰圧テント, 仮設トイレ, 診察台を含む購入, 冷暖房, そういったものの購入とさせていただいております。

詳細の事業につきましては, 病院事業会計のほうで説明があるかと思っております。

す。

それから、もう一つ最後に、これも病院会計の繰り出し補助でございます。医療機関における新型コロナウイルス感染症患者受入れ促進医療提供体制の強化、設備整備ということで、4-1-1、同じく事業番号40039でございます。ポータブルエック線装置及び心電図モニターの購入のための繰り出しを行っております。1,617万円という事業決算でございます。

以上、主要なコロナ関連の予算決算について先にご説明をさせていただきました。

続きまして、こちらのほうは総務防災課決算主要事項説明書のほうになります。

まず初めに、大きなものからご説明をさせていただきます。

こちらのほうは、4ページでございますが、100万円以上ということでございますので、まず2-1-1の事業番号10002、こちらのほうになろうかと思えます。こちらのほうの11-2保険料でございます。103万6,785円、こちらのほうは、令和2年度全国町村会災害対策費用保険料、また総合賠償保険料等町村会での町村の保険を掛けているものでございます。

続きまして、こちらのほうのホストコンピューターのほうでございます。こちらのほうが、大きな物といたしまして電算保守業務委託料309万8,304円でございます。基幹系のシステム機器の保守委託料と主なものとなっております。それから、その下の社会保障・税番号制度システム対応業務委託料、こちらのほうが110万円となっております。それから、その下の18-89、特定個人情報の電子機器の設置等関係事務の委任に係る交付金でございます。こちらのほうは418万3,000円とさせていただきます。

続きまして、その下の事業番号10005でございます。情報通信の事業でございます。こちらのほうは、消耗品といたしまして114万8,444円、事務機器、消耗品ほかとさせていただきます。トナーとかパソコン関連のそういった消耗品でございます。

それから、11-1でございます。通信運搬費、こちらのほうは166万2,422円でございます。インターネット回線ほか回線使用料とさせていただきます。

次のページでございます。

12-11、電算保守業務委託料973万4,219円でございます。ネットワークの強靱化関



連システム機器ほかの保守業務委託料でございます。こちらのほうは、L G W A N回線と通常の一般ネット回線を分けたためのシステム保守とさせていただいております。それから、17-1でございます。備品購入費671万8,360円でございます。職員デスクトップパソコンほか備品購入費とさせていただいております。それから、こちらの事業の一番下の18-58でございます。県電子自治体共同システム運営経費負担金でございます。電子自治体共同システムの県内の運営に係る負担金で147万6,227円とさせていただきます。

それから、こちらのほうの歳出のほうは大きなものとなっておりますが、10008、職員管理でございます。こちらのほうは、まず上から順番に大きなもの、科目名称と金額のご説明をさせていただきたいと思っております。特別職給料1,582万8,000円、こちらのほうは特別職の給料とさせていただきます。2-2、職員給料1億9,021万3,211円、こちらのほうは正規職員の給料でございます。それから、2-3、会計年度任用職員給料でございます。599万100円、こちらのほうは、総務防災課関連の会計年度任用職員の給料とさせていただきます。それから、時間外勤務手当でございます。100万1,636円でございます。それから、扶養手当でございます、564万864円。それから、その下の住居手当168万3,000円、通勤手当369万8,400円、管理職手当659万8,878円、それから宿日直手当は少額でございますが59万7,800円でございます。期末手当でございますが、4,848万4,276円、それから勤勉手当3,094万5,499円、児童手当241万円、退職手当負担金、退手組合への負担金でございます。4,920万9,471円でございます。それから、会計年度職員の退職手当組合負担金として297万7,138円でございます。それから、4-1でございますが、市町村職員共済組合負担金6,817万3,860円でございます。それから、4-3、社会保険料等でございます。こちらのほうは221万8,539円でございます。それから、12-11、電算保守業務委託料、こちらのほうは人事給与システムに係るソフトウェアの保守業務委託料127万2,810円でございます。それから、こちらのほうでございますが、12-69、人事評価制度支援業務委託料110万8,800円、勝浦町人事評価制度運用支援業務委託料とさせていただきます。それから12-72、メンタルヘルス事業委託料でございます。116万1,050円、メンタル相談事業の委託料、ストレスチェック制度業務の委託料でございます。それから13-5、人事評価システム使用料といたしまして130万6,800円、

こちらのほうは人事評価システムのソフトウェア使用許諾及び保守料とさせていただきます。

職員管理につきましては、以上でございます。

続きまして、10009の総務管理のほうに移らせていただきたいと思います。まず、10-2でございます。消耗品費として360万8,864円、飛沫防止アクリルパネルスタンダードというのは規格品の一般的な大きさのものほかを消耗品として購入をさせていただいております。それから、印刷費、製本費でございます。こちらのほうは124万1,590円、勝浦町の例規集追録印刷製本費が主なものとなっております。それから、11-1、通信運搬費でございます。こちらのほうは、724万4,844円とさせていただきます。庁舎の電話代、郵送料、総合法令管理システムの通信費とさせていただきます。それから、12-54でございます。例規検索システムデータベース維持更新委託料113万7,400円、こちらのほうは例規の検索のデータベースの更新業務の委託料となっております。改正があるたびに更新をかけていってございます。それから、12-64、町役場清掃業務委託料254万682円、勝浦庁舎の清掃業務等を委託しております。シルバー人材センターへ人材の派遣を委託しております。

それから、10012財政管理でございます。こちらのほうは、106万9,200円、電算保守料でございますが、財務会計システムソフトウェアの保守業務でございます。それから、その下の12-12、バランスシート等の作成業務の委託料、統一的な基準による財務書類作成業務の委託132万円でございます。それから、12-71公共施設等長寿命化計画策定業務委託料161万7,000円、令和2年度におきまして勝浦町の公共施設等個別計画、施設計画策定業務を委託しております。

それから、10014でございますが、各種審議会等につきましては開催をいたしておりませんので、支出のほうはございません。

それから、10026、こちらのほうは公共交通でございます。こちらのほうは、新型コロナ路線バス運行奨励金、先ほどコロナ対策でご説明させていただきました240万3,000円とさせていただきます。

それから、庁舎管理のほうに移らせていただきます。こちらのほうは、10-6光熱水費403万4,006円、こちらのほうは役場の電気代となっております。それから、役場宿日直対応業務委託料、こちらのほうはALSOKのほうに勝浦町役場の当直業務、

警備並びに119番通報対応業務を委託しております。こちらのほうが784万4,204円でございます。

次のページでございます。

14-1工事請負費でございます。こちらのほうは、役場の水道のほうの簡易水道給水切替えに係る工事、それから役場の正面玄関の街灯工事、それから南側の一般の家との仕切りのところの塀が壊れておりましたので、ブロック塀を撤去いたしまして、フェンスを設置した工事とさせていただいております。その合計を287万3,200円とさせていただきます。続きまして、16-1でございます。財産の購入費、こちらのほうが459万9,000円とさせていただいております。事前復興拠点施設整備事業用地ということで、租税特別措置法の適用を受けて西側の駐車場を購入いたしましたものでございます。730平方メートルとさせていただいております。一部駐車の方は今日から可能となっておりますが、コンクリート壁の関係で来週20日以降、全面的に利用する予定とさせていただく。30台でございます。

それから、こちらのほうが総務防災課としては一番大きな支出、2年度になったかと思えます。令和2年度の勝浦町役場活動発動発電機整備工事でございます。2,671万200円、その上の設計監理業務といたしまして188万1,000円でございます。庁舎裏側の工事費でございます。

続きまして、10016、こちらのほうは18-63地区運営等統合補助金でございます。こちらのほうは、各16地区に活動統合補助金ということでお渡ししている分でございます。399万3,900円、総合計でございます。

それから、2-1-7でございます。こちらのほうは、地域情報基盤設備整備事業とさせていただいております。こちらのほうは、保守点検委託料、勝浦町の光ファイバー芯線及び伝送設備等の保守運用業務委託料1,097万8,189円でございます。それから、使用料といたしまして電柱添架料、総合計251万9,110円とさせていただいております。

続きまして、こちらのほう、10022コミュニティー補助金でございます。18-69、640万円でございます。こちらのほうは、コミュニティー助成事業、昨年度3地区実施をさせていただいております。当初予算で2地区計上しておりましたが、追加で昨年度承認していただきましたので、年度当初早々に補正をいただいて3地区で完了をい

たしております。

続きまして、こちらのほうは40039病院事業会計への繰出金でございます。3億7,955万5,951円でございます。不用額のうち、2億4,858万6,080円は递次繰越しとさせていただきますいております。

続きまして、8-1-1非常備消防でございます。

まずは、救急業務でございます。2-3会計年度任用職員給料、こちらのほうは救急隊の6名分の給料でございます。1,394万1,410円とさせていただきますいております。それから、会計年度の方の期末手当のほうを支給させていただきますいております。こちらのほうは会計年度任用職員になったことによる期末手当の支給というふうなことでございます。190万7,976円でございます。それから、こちらのほうが社会保険料でございます。315万5,454円、社会保険料救急隊分とさせていただきますいております。12-76でございます。救急救命業務委託料5,805万5,556円、救急救命士の委託業務でございます。それから、13-3賃借料、こちらのほうは救急救命士の詰所賃借料120万円とさせていただきますいております。

10024でございます。消防費、消防事業関係の消防分野でございます。

消防団員報酬といたしまして662万5,600円とさせていただきますいております。1分団から10分団の報酬とさせていただきますいております。それから、こちらのほうの消耗品費でございますが、消防関係の消耗品費794万1,885円、消耗品費でございますのでいろいろございますが、大きなものとして「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業の補助金をいただきまして、災害用簡易トイレ調達業務、こちらのほうを複数年に分けて調達していくものでございます。令和2年度においても調達を実施いたしております。それから、光熱水費でございます。こちらのほうは、消防詰所、防犯灯の電気代となっております。236万8,975円でございます。それから、その下の修繕費、こちらのほうは防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換等が主な事業でございます。481万242円でございます。それから、こちらのほうは12-14防災行政無線の設備保守点検業務でございます。226万6,000円とさせていただきますいております。それから、ハザードマップ作成委託料922万1,300円でございます。こちらのほうは、今年度に入ってお配りをさせていただきます、9月以降地区の説明に回らせていただきますハザードマップの作成業務でございます。それから、14-1工事費でございます。483万5,100円

でございます。防災行政無線操作卓自動プログラム創出装置基盤改修ほかとさせていただいております。それから、備品購入費584万4,788円、こちらのほうも「とくしまゼロ作戦」の県土強靱化事業のテント調達業務ほかとさせていただいております。それから、退職報償金負担金でございます。こちらのほうが、486万5,900円でございます。消防退職報償金の負担金とさせていただいております。18-76でございます。消防団運営補助金といたしまして、令和2年度勝浦町消防団への運用補助金105万6,000円を実施しております。

11-1-1 元金償還でございます。10027地方債償還金元金、22-1 元金の償還金でございます。3億7,951万8,968円、地方債の償還金元金でございます。

それから、地方債償還金利子といたしまして1,080万3,984円とさせていただいております。

以上、総務防災課の歳出100万円以上のものを中心にご説明をさせていただきます。よろしく願いをいたします。

小休をお願いします。

○議長（美馬友子君） 小休始めます。

午前11時03分 休憩

午前11時04分 休憩

○議長（美馬友子君） 再開いたします。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） すみません。失礼しました。

休暇等、まず1点目でございますが、全般的にわたるところであろうかと思えます。休暇取得と時間外の状況のことにご指摘をいただいておりますかと思えます。

昨年度もご指摘をいただきまして、昨年度、表もつけさせていただいておりますが、監査委員さんのほうにもそういったことで提出をさせていただいておりますが、こちらのほうの時間外でございますが、総務防災課、総時間数は1,258時間とさせていただいております。平均につきましては、250時間、元年度におきましては2,159時間でございますが、総時間数自体はかなり減っているのかなというふうには考えておりますが、時間外については基本的に休日については代休取得等を促進して取るというところではございます。さらなる削減というのは、健康管理の面からも必要であるというふうには考えておりますので、今年度につきましてはもう少し平準化

を図って業務に当たるよう、事務分担等の変更をさせていただいて実施をしているところでございます。

それから、休暇の取得でございますが、こちらのほうは総務課、有給休暇の取得でございます。平均的には3日と一番少ないような状況となっております。こちらのほう、まずは代休取得を主に健康管理の面からも実施をして代休を取得して、その後夏季休暇のほうは取得できていたかと思いますが、有給休暇については十分ではなかったのかなと思っております。休暇の取得に努めていきたいと思っております。

その他の分で住基システム等の契約について公表のほうというふうにご指摘を、お話をいただいております。こちらのほうは、契約については総務課と税務課のほうにまたがるシステムということで、税務課長、住民課長と協議をして調整をして、総合調整ということで総務課として契約、起案して実施したものでございます。基本的に平成30年度にコンピューターシステムの導入に係る契約ということで企画総務課長からの通達のほうがございます。こちらのほうは、700万円以上の備品購入に係るものについては議会の議決が必要であるというふうな通達が出されております。それから、備品購入、買入れする場合は動産の買入れになるということでございます。今回の契約については利用料ということで、通信運搬費でのクラウド利用ということでございますので、議会の承認の必要がない契約等でございます。

それから、各事業における電算システムの導入の入替えの方針ということで、平成21年3月2日付で電算室が廃止になった時点でシステム導入については基本的に業務に当たる各課の導入というふうな通達は出されておりますが、今回の案件につきましてはクラウド利用とか、そういった基幹的なもの、そういった両課にまたがるということで総務課で調整をして総務課長として調整したものでございまして、総務課でまとめて起案したものでございます。契約の公表につきましては、昨年度もご指摘を多分いただいたと思うんですが、工事につきましては、300万円以上、4月から建設課のほうで要綱等を定めて各課で公表等を実施しているところであろうかと。物品の購入につきましては、各課において公表されるように勝浦町物品購入契約に係る入札公表に関する要領というのを本年4月から課長会において通知しておるところでございます。ご指摘を受けて、今年度から公表するような方向で実施のほうに向かっているということでお話をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（美馬友子君） 以上で総務防災課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩いたします。

午前11時10分 休憩

午後2時33分 再開

○議長（美馬友子君） すみません。それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

出納室関係の詳細説明を求めます。

長友会計管理者、よろしく申し上げます。

○会計管理者（長友清美君） それでは、出納室部門の説明をさせていただきます。

説明書の2ページ目をご覧ください。

2款1項1目総務管理費の出納事業です。内訳としましては、昨年同様になります。出納業務に係る時間外手当や消耗品、印刷製本代等で総額33万8,411円で、執行率91.96%でございます。

次に、2款1項2目財産管理費です。こちらの歳出も事業内容は昨年同様です。主なものとしまして、11-2保険料352万3,884円で、この保険料の内訳としては、建物と自動車の災害共済保険料と公用車の車検に係る自賠責保険料になります。次に、12-531浄化槽業務委託料589万1,270円で、保守点検と清掃業務になります。

次に、12-532公有財産台帳整備委託料が196万200円で、株式会社地域科学研究所に町有の固定資産台帳の整理を委託しているものでございます。財産管理費の総額は1,303万3,963円で、執行率が95.54%でございます。

11-1-2の利子につきましては、26万円の借入利息を計上しておりましたが、一時借入れがなかったため、不用となりました。

以上、簡単ではございますが、出納室の説明とさせていただきます。

○議長（美馬友子君） 以上で出納室関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩いたします。

午後2時36分 休憩

午後2時43分 再開

○議長（美馬友子君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

企画交流課関連の詳細説明を求めます。

寺尾企画交流課長， よろしくお願ひします。

○企画交流課長（寺尾由美君） それでは， 企画交流課の決算の一般会計のご説明をいたします。

まず初めに， 決算主要事項の説明書でございますが， 企画交流課の予算に対する決算額の執行率は全体で93.15%となっております。個別に100万円以上のものについてご説明をいたします。

まず初めに， 2 款の企画総務費でございます。12-68の勝浦町総合基本計画の策定業務委託料が660万円， それから18-93勝浦町杉の子支援事業補助金300万円。

続きまして， 地方創生関連事業で2-3の会計年度任用職員給料， こちらは四国大学との連携事業を行っていただいている協力隊の給料となります。

続きまして， 3 ページ目です。

同じく地方創生関連事業で18-436の徳島東部地域DMO負担金が155万円， それから同じく18-493で移住・定住支援住宅改修補助金744万円， こちらはリフォーム補助で25軒の実績となっております。それから， 18-494移住・定住支援住宅新築補助金， こちらは520万円で住まい応援事業として5軒の実績となっております。

続きまして， 商工振興費でございます。12-6 設計等委託料219万7,800円， こちらはかんきつテラスのコワーキングの構築となっております。それから， 12-60コンテンツ作成業務委託料251万9,000円， こちらは移住動画， それからオンラインのツアーの委託料となっております。それから， 12-386サテライトオフィス誘致業務委託料253万円， こちらは勝浦町サテライトオフィスの誘致支援の業務委託でサテライトオフィスの誘致支援のマニュアル作成と， それからマッチング事業についての委託を行っております。続きまして， 18-400商工会補助金1,030万7,977円， こちらは勝浦町の商工会への補助金と令和2年度におきましてはプレミアム商品券の分が上乘せされて， 合計で1,030万7,977円となっております。続きまして， 18-583新型コロナの感染防止対策支援事業補助金924万100円， こちらは町内事業者に向けてのコロナ対策のマスクですとか消耗品とかを購入する事業の支援として145件の実績となっております。続きまして， 18-584社会システム維持事業補助金451万220円， こちらは専門学校， それから社会福祉法人， 社会福祉協議会への支援としまして， コロナ対策に充てる事業で3件の実績となっております。続きまして， 18-586かつうらPR商品開発



協力金280万円、こちらはPR商品を開発していただいた事業者に14件の実績で行っております。次が、18-587持続化給付金1,330万円、こちらは国の持続化給付金を受けた事業者に対して町独自の上乘せを行ったもので、101件の実績となっております。

続きまして、観光総務費でございます。こちらは、12-2施設管理委託料、勝浦フライトパークの管理委託ほか8件、四国の道、それから前川キャンプ場、フライトパーク等になっております。

続きまして、観光推進事業としまして、13-434インバウンド事業補助金351万3,019円、こちらはインバウンド受入協議会の補助金としてコロナ対策としまして、子供の田舎体験ということでツアーとかを調整しました。

続きまして、地域推進交流事業としまして、18-411イベント助成事業補助金157万5,480円、こちらにつきましてはビッグひな祭り補助金と軽トラ市への補助金でございます。続きまして、18-430勝浦町地域活性化協会補助金1,207万円、こちらは勝浦町地域活性化協会への補助金でございます。続きまして、18-587持続化給付金607万8,000円、こちらは勝浦のイベント開催の持続化給付金ということで、コロナ対策等に使う費用としまして11団体への実績となっております。

続きまして、道の駅事業でございます。2-3の会計任用職員給料396万6,000円、こちらは道の駅スタッフの協力隊の給料となっております。続きまして、10-6水道光熱費215万8,622円、こちらは道の駅情報館の電気代となっております。続きまして、12-383道の駅指定管理料715万円、こちらは指定管理料です。

続きまして、ふれあいの里さかもと事業としまして、施設管理委託料200万円、こちらはコロナによります休業を余儀なくされましたふれあいの里に対しましての管理費等の支出で200万円です。それから、18-411イベント事業助成補助金200万円、こちらはグリーンツーリズムの支援事業となっております。

続きまして、主要事項のうちの説明資料としまして準備しましたが、まずは勝浦町の新型コロナウイルスの感染症対応地方創生臨時交付金事業の実績でございます。まず2ページにお示ししてありますが、令和2年度に行いました町全体の事業になります。それぞれの担当課別に金額、それから事業名をお示ししております。令和2年度の1次、2次配分の決定額が2億5,725万9,000円で、令和2年度の実績におきまし

ては2億1,047万8,000円です。中で斜線が引かれている部分につきましては、令和3年度への繰越事業となっております。

続きまして、コロナの臨時交付金につきましてはの割合と、それから分野別等につきまして実績をお知らせします。

まず、対象者別では、上から順番に中高生・高齢者・妊婦・健診等に対しますものの、それから高校生・大学生というふうにそれぞれの対象者、どういった対象者に行ったかということでお示しをしております。それから、下のほうでは、感染予防なのか、経済対策なのか、生活支援なのかということでお示ししております。

続きまして、4ページ目は、企画交流課分についての新型コロナの事業の実績でございます。全部で11件、上から学生への応援事業、それから先ほど申し上げました感染防止対策事業、それからPR開発支援事業、インバウンド受入れ協議会で行いましたほどほど田舎体験受入事業、それからプレミアム商品券の発行事業、公共施設等管理維持体制ということで、ふれあしの里への支援、それから社会システムの維持ということで行った支援、それからイベント開催を持続するための支援、それからサテライトオフィス等の誘致とそれから整備による事業、それから持続化給付金の上乗せ助成、それからオンラインで行いましたかつうら応援ツアー、合計で5,612万8,000円の事業となっております。その中で1番、3番、5番、6番、9番につきましては、令和3年度においても一部見直しを行って継続して実施しております。

続きましては、コロナ以外の主な事業の実績でございます。

まず、負担金、交付金、補助金等の実績ですが、上から杉の子支援事業補助金300万円、こちらは飲食店が2店と総菜販売店1店の3店が新規にオープンいたしております。定住促進の賃貸住宅の家賃助成につきましては、66万6,000円でこれまでの継続世帯が7世帯と新規の申請が1件ありました。勝浦未来創生事業補助金は39万円、一件だけ採択しております。移住・定住支援住宅改修補助金につきましては、リフォーム25軒、予算いっぱいまで使用しまして744万4,000円となっております。それから、住まい応援事業補助金につきましては、5軒で520万円。続きまして、勝浦町商工会補助金では、コロナの先ほどのプレミアム分を除いた分で669万2,000円となっております。活性化協会への補助金は、先ほど示したとおり、1,207万円です。それから、イベント補助金、先ほどと同額で157万5,000円となっております。その他の事

業実績としましては、情報発信の回数をこのたびやってみました。全てが拾えているわけではないんですが、ホームページや広報、新聞等での周知を行った分です。

それから、主な主要施設の利用人数でございますが、平成30年、それから昨年、本年度と比べてみましたが、令和2年度におきましてはレヴィタかつうら、前川キャンプ場、道の駅、ふれあいの里さかもと、それぞれこのような結果となっております。中で、前川キャンプ場だけは屋外ということで、1か月ほど閉めたにもかかわらず利用者が多かった結果となっております。

続きまして、物産販売は、コロナの影響で県外のほうへは行けなかったのですが、県内及び町内で6回、それから移住フェアの参加も今回は県外への出張は全て中止となりましたので、オンライン参加のみとなっております。

ネットワーク交流につきましては、勝浦ネットワークのほうはオンラインで会議を行ったのみですが、丹波市への恐竜博への参加で1度物産販売に出かけております。元気市&音楽祭、こちらにつきましては、コロナの対応を行いながら30店舗出店で、3,000人の参加がございました。

続きまして、移住者の状況でございます。企画交流課のほうで毎月集計を取りまして、徳島県のほうへ報告を行って、こちらは新聞のほうで報道発表されている資料となります。令和2年度につきましては、県内からの移住者が62名、県外からの移住者が24名、合計86名、それから移住相談につきましては、移住フェアとかに参加できなかったことから、例年よりも少なくなつて26件でございます。

空き家バンクの利用状況ですが、平成27年からの登録累計軒数で47軒の登録があります。そのうち、今、賃貸のみで貸し出している部分で58%の利用率、それから買取り等で既にもう所有権が移っている物件も含めると62%の利用率となっております。

続きまして、平成27年から令和2年度まで行ってまいりました住宅新築改修補助金等の実績で、上の表は地区別の表となっております。それから、下のほうはその事業を利用した移住者の数を分析しております。これで見ますと、Iターン、JターンよりはUターンの方が帰ってこられて、新築とか改修とかを行われて住まわれているという傾向が多いことが分かります。

続きまして、転出時のアンケートでございますが、任意のアンケートですので、全

での回答があったわけではございませんが、窓口で提出されている平成30年1月1日から令和2年3月31日までの27か月間の292名の転出者のうち、回答があった237名、81%の回収率で、男女別、年齢別、それから理由別、行き先別というふう集計を取ってみました。20代から大体40代ぐらいまでの転出は男女ともすごく多く、それから行き先とか理由別でも、男性は就職での転出が、女性は結婚での転出が、特に男性は県外、女性は県内というような傾向が見られております。

以上が一般会計の決算報告等になります。

続きまして、物産会計について説明いたします。

勝浦町物産販売特別会計でございます。道の駅の分ですが、こちらにつきましては、販売事業費が763万3,916円で、商品の仕入れ代としまして427万8,958円、それから一般会計の繰出金200万円となっております。こちらにつきましては、売上げのほうは949万9,925円、で、先ほど申し上げました支出のほうは764万3,916円となっております。次年度への繰越しが185万6,009円です。

レジ通過人数ですが、前年度と比較しましても非常に少なくなっており、マイナス3,883名、こちらは昨年4月25日から5月6日まで休館を余儀なくされました。この間、ゴールデンウィークということで人出がかなり多く見られる時期ではあったにもかかわらず、休館ということとなったので、売上げ、それからレジの通過人数にもかなり大きな影響が出たと思われまます。

続きまして、道の駅の情報発信につきましてですが、令和2年3月にホームページのほうの中身をかなりリニューアルをしました。それで、毎月の訪問者数とか閲覧件数とかを少し分析をしたんですが、最終的には10月からは1,000人を超えて、今現在もかなり増えてはおります。よく見られているページ、主なものとしましては食事、それからスタッフが発信しているブログ、それからRVにつきましての検索は以前からすごく多く、RVパークで泊まれる施設というのが、最近特にコロナもありまして興味が多かったのではないかと思います。

それから、イベントの実績なんですけど、あまりイベントは昨年度は行われておりませんでした。ちょうど3月が道の駅の10周年ということでいろいろと連携をしたイベントなどを行いました。夜のひな祭りも行いましたし、それから明治安田生命との健康増進イベントとかも行いまして、この間の来場者は多かったと思います。ただ、

レジ通過数につきましてはあんまり多くはなかったのかなと。隣の産直の駅通過数はかなり多かったと思うんですけど、道の駅のレジ通過数につきましては少なかったかと思っております。これももう少し見直しが必要だと考えます。

以上で決算と資料の説明は終わりますが、最後に、決算審査の結果で指摘をいただきました事項につきましてご説明いたします。

企画交流課に対しましての指摘事項につきましては、休暇取得及び時間外勤務状況調べの中で、冒頭に述べたとおり全体的に改善が見られるが平均休暇取得日数が総務防災課が3日、次いで企画交流課が3.5日と少ないというご指摘をいただいております。こちらにつきまして、今後の方向性と取組についてご説明します。

前年度から人員の増加はありましたものの、新型コロナウイルス感染症対応の業務等により十分な休暇の取得はできておりません。本年度におきましては、各事業を計画的に進め、休暇取得により健康管理に努めることといたします。

以上でございます。

○議長（美馬友子君） 以上で企画交流課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩といたします。

午後3時02分 休憩

午後3時40分 再開

○議長（美馬友子君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

福祉科関連の詳細説明を求めます。

木村福祉課長。

○福祉課長（木村美枝君） 福祉課の方の同席で、介護担当の杉山の方を同席させていただきます。

それでは、令和2年度一般会計歳入歳出決算主要事項及び令和2年度介護会計歳入歳出決算主要事項の説明をさせていただきます。

まず、一般会計のほうから決算主要事項説明書により説明をさせていただきます。

2 ページ、3-1-1 社会福祉費、決算額2,281万5,198円。

40001社会福祉費1,820万28円で主なものは、12-29計画等改定業務委託料165万円、こちらは第2期勝浦町地域福祉計画等策定支援業務委託料で名古屋のメイハウに委託し、作成をいたしました。18-301社会福祉協議会活動補助金1,555万1,594円、

こちらは社会福祉協議会事務局の事務費等が主なものでございます。

次に、40002民生委員活動310万7,610円でございます。主なものは、18-299民生児童委員活動費等負担金190万5,920円、こちらは県から市町村に交付される負担金でございます。民生委員26名でございます。18-300民生児童委員協議会活動補助金117万円となっております。コロナ禍での活動で規模を縮小した交通安全キャンペーン、また学校訪問、それから福祉課のほうで行いました高齢者等への物品配布等では見守りを兼ねて訪問していただき、訪問時の様子等を報告していただくなど、工夫して活動していただきました。

続きまして、3-1-2障害者福祉費、決算額1億7,148万7,040円。

40005障害者福祉534万1,070円で主なものは、12-323勝浦町障害福祉計画作成委託料182万6,000円、こちらは第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画策定支援業務委託料で、地域福祉計画と併せてメイホウに委託し、策定をいたしました。

次に、40007重度心身障害者医療1,632万7,230円、主なものは19-12重度医療費1,587万1,242円、重度障害者の方への医療費の助成でございます。対象者は164名でございます。

次に、40010障害認定審査会共同設置230万3,817円、主なものは1-10会計年度任用職員報酬121万9,251円、こちらは上勝町、佐那河内村、勝浦町の3町村で審査会を共同しており、3町村の事務局で勝浦町に職員1名を雇用しております。

次に、40011地域生活支援事業1,043万3,973円、主なものは、12-294地域活動支援センター事業委託料160万円、こちらは機能強化事業でサルビア作業所指導補助員の方の人件費等でございます。12-295地域生活支援事業委託料199万3,580円、こちらは障害者の方の外出移動に対する支援を行っております。車両型は社会福祉協議会へ委託をし、個別はあすみなど各事業所へ個別に委託契約をしております。18-306地域活動支援センター運営補助金380万円、こちらはサルビア作業所の運営費で社会福祉協議会に委託し、運営しております。19-18障害者自立支援給付費223万6,393円で、こちらは一般的に普及していない日常生活用具の給付、対象者23名でストマ、たん吸引器など等でございます。

次に、40013障害者総合支援法給付事業1億970万5,636円で、19-18障害者自立支援給付費1億909万4,012円、こちらは相談支援、ヘルパー利用、また補装具など障害

福祉サービスの給付費でございます。

次に、40014障害児通所支援事業899万1,690円。主なものは、19-24障害児通所支援事業費857万8,266円です。こちらは、放課後デイを利用、未就学児の事業所利用、また保育園等を訪問していただく事業等でございます。

次に、40031障害者医療費1,848万3,624円で、主なものは19-18障害者自立支援給付費1,847万2,409円で、こちらは腎臓機能障害、透析の方や心臓機能障害など、対象疾病の方を対象に必要な医療を支給しております。入院、通院などで15名の方の給付費となっております。

続きまして、3-1-3老人福祉費、決算額1億7,360万2,275円で、40016介護保険事業1億3,788万1,265円で、主なものは、27-5介護保険特別会計繰出金1億2,481万3,325円、こちらは給付費に関する繰出金となっております。27-13低所得者保険料軽減繰出金1,293万4,320円で、こちらは低所得者に対して保険料を軽減した場合の繰出金で、第1段階から第3段階の方、843名の方となります。

次に、40017在宅支援事業1,741万7,925円。主なものは12-299食の自立支援事業委託料719万6,700円、こちらはこちらの配食サービスで長寿会のほうへ委託をしております。利用者は48名でございます。12-350在宅生活継続支援事業633万4,000円でございます。こちらは、お泊まりデイでございます。令和2年度、26名の方の実績がございます。19-26高齢者医療支援助成金246万9,000円、タクシー運賃助成事業でございます。令和2年度、229人の方の助成を行いました。

次に、40018、18-308シルバー人材センター運営事業費補助金380万円でございます。こちらは、シルバー人材センター職員の人件費等が主なものでございます。そのほか、県からの補助金と事業活動支援費等で運営をしていただいております。

次に、40019老人クラブ事業。18-309老人クラブ活動等事業費補助金102万9,020円となっております。町内14老人クラブへ補助金、1地区4万2,930円、老人クラブ連合会へ42万8,000円を補助金として出しております。

次に、40021敬老理念普及事業729万3,449円、主なものは18-311敬老会活動補助金126万9,000円、75歳以上の方、1人当たり1,000円の補助金、16地区でございます。19-13敬老年金563万円となっております。80歳から89歳660人、90歳以上232人でございます。

次に、40022老人保護措置事業でございます。19-27養護老人ホーム入所措置618万616円となっております。入所者数は2名となっております。

続きまして、3-1-6隣保館費でございます。

40026勝浦会館運営費417万5,604円。主なものは2-3会計年度任用職員給料、会館の館長でございます。175万3,200円でございます。

続きまして、3-1-7住民福祉センター費。

40027住民福祉センター費524万5,868円。主なものは10-6光熱水費140万589円でございます。次に、12-303住民福祉センター施設管理委託料349万3,000円でございます。指定管理委託先は社会福祉協議会でございます。センター宿直に従事している方の人件費等が含まれております。

続きまして、3-2-1児童福祉総務費、決算額2億6,644万9,301円。

40030保育等促進事業2億88万951円。主なものは12-307地域子育て支援拠点事業委託料827万円、こちらはみかん保育園で子育てサロン事業、こあら組の名称で週5日、2名の職員で対応していただいております。18-289新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金700万円、こちらは両保育園に感染症対策として備品等を購入をしていただきました。資料のほうは22ページにつけてございます。次に、18-316保育所運営費負担金1億6,611万2,900円、こちらは子供1人の単価掛ける人数で毎月支払いを行っております。18-326保育所運営費補助金338万2,500円、こちらの補助金は3つの事業から成っているもので、1つは災害時対応メール、年間12万円でございます。次に、2つ目が途中入所児の待機児童を出さないための保育士の確保をするものでございます。それと3つ目が、3歳から5歳児の副食費助成、1人4,500円でございます。1か月4,500円となっております。そして、こちらの不用額につきまして、待機児童を出さないための保育士の雇用をしなくても当初の保育士数で対応ができたため、不用額が出ております。次に、18-330体調不良児型病児・病後児保育事業補助金894万4,000円、こちらは保育中の急な体調不良となった児童への対応で看護師をそれぞれ1名ずつ雇用しております。18-600保育体制強化事業費補助金180万円、こちらは保育士の補助的な役割を担う補助員の雇用でございます。不用額については、みかん保育園での雇用日数が減となったためでございます。18-825待機児童対策補助金216万円、こちらは待機児童を出さない対策として町内保育園の保育士等へ独自



の手当を支給するための補助金で運営する福祉法人へ交付しております。町内保育士数でこすもす保育園が5人、みかん保育園が8人、町外の保育士でこすもす保育園が7人、みかん保育園が4名となっております。

次に、40046児童手当5,934万175円。主なものは19-7児童手当費5,801万5,000円でございます。ゼロ歳から中学校修了までの児童を監護している父母等へ支給をします。延べ児童数は、令和2年、5,198人でございます。

続きまして、40059子育て世帯への臨時特別給付金622万5,225円。主なものは12-25システム改修委託料110万円、18-290子育て世帯への臨時特別給付金499万円、こちらはコロナ対策事業関連で児童手当を支給している方を対象に1人1万円を支給いたしました。

次に、3-2-2子育て支援事業費、決算額2,391万1,645円。

40034放課後健全育成事業1,575万7,665円。主なものは12-309放課後健全育成事業委託料1,326万5,000円、町内2か所の小学校の空き教室を利用いたしまして、それぞれ学童保育を行っております。対象経費を国、県、町で3分の1の補助と保護者から利用料を徴収し、保護者会が運営設置をしております。18-289新型コロナウイルス感染対策事業費補助金221万8,410円、両学童で感染症対策の備品等を購入し、感染対策に取り組んでいただきました。

次に、40035子育て総合支援事業815万3,980円で、7-1謝礼159万8,000円、こちらはこどものひろば英会話講師、また1歳半、3歳児の歯科健診、衛生士等への謝礼も含まれております。12-306子育て交流支援センター施設管理委託料224万1,000円、指定管理委託先は社会福祉協議会でございます。18-338出産祝い金制度交付金109万円、第1子8人、第2子11人、第3子以降3人、計22人でございます。

次に、18-602新生児臨時特別定額給付金150万円、こちらは国の特別定額給付金の基準日、令和2年4月27日を過ぎて生まれた子を対象に1人10万円を給付いたしました。15名でございます。

続きまして、3-2-3子どもはぐくみ医療費、決算額1,333万7,302円でございます。

40036子どもはぐくみ医療1,279万7,937円で、主なものは19-11子どもはぐくみ医療費1,201万8,743円となっております。ゼロ歳から中学校修了までの医療費の助成で

ございます。

次に、4-1-1保健衛生費、決算額2,820万5,829円でございます。

40038予防接種等事業費2,149万5,397円。主なものは11-4手数料100万6,675円でございます。こちらは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、6か月から18歳と妊婦さんを対象にインフルエンザ予防接種の助成を行った事業で、勝浦病院で接種した方の手数料となります。町内、町外での接種者、子供が361人、妊婦が8人でございます。それから、12-25システム改修委託料0円、こちらは今年度に繰越しをさせていただいております。12-313予防接種等委託料1,842万9,643円、こちらは新型コロナウイルスワクチン接種に係る業務等委託料と高齢者インフルエンザ予防接種、小児の各予防接種委託料でございます。資料は、ページ40から41ページに載せてございます。18-330予防接種費償還金88万4,050円、こちらは先ほど手数料で勝浦病院のほうで説明をさせていただきましたインフルエンザの予防接種助成事業で、勝浦病院以外の町外の病院で接種した方の個人負担分を償還払いにさせていただいたものでございます。

次に、40056保健衛生費588万5,920円。主なものは10-2消耗品費177万3,014円で、こちらは新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用いたしました事業で、高齢者、子供、妊婦等への衛生用品等を配布したものでございます。18-322救急医療病院輪番制負担金298万3,000円、こちらは休日、夜間の診療時間帯を複数の救急告示医療機関で当番制を取りながら救急体制の確保に努める事業で、勝浦町は原田病院と阿南医療センターが救急告示医療機関で、その負担金となっております。

続きまして、4-1-2健康増進事業費、決算額949万5,420円。

40044健康増進事業949万5,420円。主なものは12-315健康診査等委託料620万770円、各種がん検診等委託料になります。検診内容等につきましては、資料の47から53ページに載せてございます。

続きまして、4-1-3母子衛生費、決算額481万7,020円。

40045母子衛生451万7,020円。主なものは12-311医師会健診等委託料311万7,924円で、町で行っております集団健診と医療機関での健康診査の委託料でございます。

すみません。13ページになります。

続いて、繰越明許でございます。

3-1-1 社会福祉費441万7,551円で、40057プレミアム商品券事業でございます。12-1 事務委託料402万4,551円、18-827プレミアム付商品券事業負担金39万3,000円、こちらは令和元年10月から消費税10%への引上げに伴い、低所得者、子育て世帯施策と地域における消費を下支えすることを目的としてプレミアム商品券販売を行ったもので、事務委託料と換金分を繰り越したものになります。

福祉課の一般会計の決算説明書は以上でございます。

続きまして、介護保険特別会計の詳細説明をさせていただきます。

1-1-1 一般管理費、決算額474万3,665円。

41000介護一般管理、主なものは12-11電算保守業務委託料148万1,480円、12-25システム改修委託料270万5,000円でございます。

次に、1-3-1 介護認定審査会費、決算額594万6,506円、こちらは上勝、佐那河内、勝浦町で認定審査会を共同設置で置いております。主なものは、1-82介護認定審査会委員報酬187万2,000円、2-3会計年度任用職員給料175万3,200円、13-4リース料ほか107万8,110円となっております。

次に、1-3-2 認定調査等費、決算額340万8,624円。

41006介護認定調査340万8,624円。主なものは11-4手数料209万円、こちらは介護認定を受けるために必要な主治医意見書料の手数料でございます。12-344指定居宅支援事業者委託料111万5,300円、こちらは新規申請以外の更新の方の訪問調査を長寿会と青陽会のほうへ委託しております。

次に、1-6-1 計画策定委員会費、決算額251万5,250円。

41024介護保険事業計画策定。主なものは12-349介護保険事業計画策定調査委託料184万8,000円。こちらは、第8期の介護保険事業計画、高齢者福祉計画の策定をメイホウに業務委託をしたものでございます。

続きまして、2-1-1 介護サービス等諸費、決算額7億7,972万5,679円。

41010介護サービス給費。主なものは18-342居宅介護サービス給付費2億9,446万2,945円、18-343施設介護サービス給付費2億9,135万1,810円、18-345居宅介護住宅改修費180万9,101円、18-346居宅介護サービス計画給付費3,832万2,720円、次に18-347介護予防サービス給付費1,621万861円、18-349介護予防住宅改修費137万7,345円、18-350介護予防サービス計画給付費310万7,930円、18-351地域密着型サー

ビス給付費 1億3,237万980円でございます。給付実績につきましては、資料のほうに載せてございますので、ご覧ください。

続きまして、2-1-3 高額介護サービス等費、決算額2,557万7,580円。

41012介護高額介護給付。主なものは18-353高額介護サービス等費2,208万8,534円、18-354高額医療合算介護サービス費348万9,046円でございます。

続きまして、2-1-4 特定入所者介護サービス等費、決算額6,114万9,832円。

41013介護特定入所者サービス。主なものは18-355特定入所者介護サービス費6,094万486円でございます。施設入所者の介護給付費等でございます。

続きまして、4-1-1 介護予防生活支援サービス事業、決算額1,395万4,943円。

41026訪問型・通所型サービス事業。18-806, 1,283万4,695円、訪問、通所等の事業費でございます。

次に、41026介護予防支援事業、18-807訪問型・通所型サービス事業100万4,060円でございます。

次に、4-2-1 一般介護予防事業費、決算額671万1,310円。内容のほうは資料のほうにございます。みかんの里等の利用でございます。

次に、41028一般介護予防事業671万1,310円。主なものは12-352介護予防普及啓発事業630万2,400円、こちらは勝浦町高齢者健康づくり推進事業を包括支援センターに委託し、介護予防に取り組んでいただいております。

次に、4-3-1 包括的支援事業任意事業費、決算額1,848万3,350円。

41017介護包括支援。主なものは12-347包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費1,645万円、包括支援センターの運営委託費等でございます。12-348任意事業費203万3,350円、こちらは食の自立支援、配食サービスでございます。

続きまして、6-1-2 償還金。

41023, 23-5 返還金1,172万8,753円、こちらは令和元年度介護給付費負担金の交付額の確定に伴う返還金でございます。

介護特別会計の詳細説明は以上でございます。

なお、実績等は資料のほうに載せてございますので、よろしく願いいたします。

以上で終わります。

○議長（美馬友子君） 以上で福祉課関連の詳細説明は終了いたしました。

議事の都合により、休憩いたします。

午後 4 時11分 休憩

午後 4 時49分 再開

○議長（美馬友子君） 再開します。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

明日、9月15日午前9時30分から会議を再開いたします。

午後 4 時49分 散会